

学習の手引き

教育目標

- 自ら学び実力のある生徒
- 心豊かで思いやりのある生徒
- 健康でたくましい生徒



中学校の授業について

中学校3年間の学習は、義務教育の最後の勉強です。つまり、社会に出ても必要な最低限の知識や考え方を身に付けるものなのです。だから、小学校と比べると内容も多く、難しくなります。では、小学校と中学校の学習ではいったい何が変わるのでしょうか。

1. 小学校と違うところは？

(1) 授業の教科ごとに先生が変わります。

小学校で授業の多くは、担任の先生にみていただいたと思います。一方、中学校では全ての教科で授業担当者が変わります。つまり、授業のたびに異なる先生が教えるようになります。これは、中学校の勉強が小学校の内容に比べ、より専門的になっているためです。

(2) 新しい教科が登場します。

教科の名称が変わるものがあります。小学校では「算数」とっていた教科が「数学」になります。「図画工作」「家庭」という教科もなくなり、その内容は「美術」や「技術・家庭」の授業内容の一部として引き継がれます。

(3) 通知票が5段階になります。

それぞれの教科の成績は5, 4, 3, 2, 1の5段階で評価されます。また、それぞれの教科において観点別に達成度が評価され、A, B, Cで表されます。

(4) 定期テスト・実力テストがあります。

学期ごとに中間テスト、期末テストがあります。約2週間前に範囲表が配られますので、それを見てテストに備えましょう。(テスト前は部活動はお休みとなります。)また、この定期テスト以外に「実力テスト」と呼ばれるものがあります。1年生では年間3回が予定されています。

～授業心得～

- ① 準備
- ② 2分前着席
- ③ 元気にあいさつ、
- ④ はっきり返事
- ⑤ よい姿勢で
- ⑥ 積極的に
挙手・発言・質問

★みんなで協力して取り組み、自分の能力を高めるために努力しよう。



2. 中学校の学習で守る3つの約束

このように考えると…「中学校の勉強って大変そうだ！」と思うかもしれません。実際に油断してなまけていると…勉強がわからなくなって苦労したり困ってしまったりするかもしれません。

そうならないように、次の3つの点を十分に注意して、学習に取り組んでほしいと思います。

(1) 授業を大切に！ルールを守って真剣に受けよう！

- ・ 授業の始めと授業の終わりにしっかりとあいさつをします。授業中に指された場合も、「はい」と元気に返事してください。これは授業を受ける上でのマナーです。
- ・ 一つ一つの授業をしっかりと受けてください。「今日の授業で一つでも多くのことを身に付けよう」という意欲をもって授業を受けましょう。
- ・ 授業へは「予習 → 授業 → 復習」の形で取り組めるのがよいとされています。もし、わからないことや疑問が出てきた場合は、それぞれの教科の先生に質問することも大切です。「わからないこと」を「わからないまま」にしておかないように気をつけましょう。
- ・ 宿題や提出物などは、きちんと期限を守って出すようにしましょう。

(2) 毎日家庭学習をしっかりと行おう！

- ・ 宿題や提出物のためだけが家庭学習ではありません。苦手な部分の復習や、漢字・英単語の暗記など、自分なりに目標を持って計画的に、取り組んでください。よく『学年+1時間』とも言われていますが（休日はこの時間にプラスα）、1年生は90分を目安に家庭学習をしましょう。2年生は120分、3年生は150分が目安となります。
- ・ 「継続は力なり」という言葉があるように、家庭学習はまず続けることが大切なのです。毎日続けて学習することで自分の力が確実についてきます。もし思うように成績が伸びないときは、家庭学習の方法を振り返り、担任の先生や教科担当の先生に相談してみましょう。
- ・ 「気が乗らないから、勉強しない。」「やる気が起きないから勉強しない！！」というのは一番悪いパターンです。自分の1日の生活というものをまず見つめてください。「〇時～〇時までには勉強タイム」というような自分なりのタイムスケジュールをしっかりと持ち、よりよい生活リズムを築いてください。そのためにも、「この時間は必ず勉強するんだ」という強い意志が必要です。「やる気は起こすもの」なのです。

(3) 学習環境を整えよう

- ・ きれいな机、すぐに使えるようになっている筆記用具、整理された室内など、すぐに勉強できるような状況になっていることが、勉強をする上では大切なことです。まず、学習する環境はおうちの方でなく、自分でつくるものだということを頭に入れておいてください。
- ・ 教科書やワークなど、勉強道具を学校の机の中に置いて帰ってしまうと、家での勉強ができません。学級担任または教科担任の先生に、許可を得ているもの以外は、必ず、家に持ち帰りましょう。
- ・ 家庭で学習するとき、身の周りを見渡してください。興味をそそられるようなものはありますか。そのようなものは、勉強をするときは見えない場所へしまっておきましょう。

国語科

授業前（予習）

- ・ 次の授業で学習する教科書のページを、必ず音読しましょう。
- ・ 漢字の読み方を確認したり、難語句の意味を辞書で調べたりしましょう。
- ・ ワークの予習問題（漢字の読み・語句の意味調べ）には、自主的に取り組みましょう。
- ・ 文章のあらすじをつかんだうえで、授業に臨みましょう。

授業中

- ・ 先生が授業の初めに提示する課題（目標）をよく聞き、探究心をもって授業に臨みましょう。
- ・ 先生の話、友人の発言をよく聞き、必要なことはメモして自分の考えを深めましょう。
- ・ 進んで自分の意見を述べたり、書いたりしましょう。
- ・ 授業の要点がわかるように、ノートはきれいに書き写しましょう。
- ・ 自分なりに考えたことや疑問点を、ノートの隅に書き留める習慣をつけましょう。



授業後（復習）

- ・ 教科書をもう一度黙読したり、ノートを見直したりして、授業のポイントを押さえておきましょう。
- ・ 新出漢字やその用例をくり返し練習し、読むだけでなく書けるようにもしておきましょう。

授業以外

- ・ すすんで新聞や本を読みましょう。普段何気なく見・聞きしている、様々な漢字やことばに関心を持ち、読んだり、書いたり、調べたりする習慣をつけましょう。
- ・ 文字を書くときは、読む（見る）側の立場に立って、正しい筆順で丁寧^{ていねい}に書くようにしましょう。

社会科

なぜ社会科の勉強するのだろう？

「この広い世界を良く見て、日本の地理や歴史のことをもっともっとよく理解し、たくさんの事を知ります。そうして、世界の中の日本に住む人間としてしっかりした知識や考え方をもち、この国をもっと良くしてゆける人間になりましょう。」

…そのために中学校で社会を勉強します。

中学校では1・2年生で「地理」と「歴史（明治時代まで）」を勉強して、3年生で6月まで「歴史（大正時代から）」、その後、「公民」を学習します。

では、君たち1年生での学習について説明していきましょう。

『地理』について

（1）地理を勉強する目的は？

- ・ 地理的な見方や考え方を学びます。
- ・ いろいろな地域をみて、その特徴や特色を理解します。
- ・ 世界の中の日本の役割を考えます。
- ・ いろいろな地域は今も変わり続けていることを考えます。
- ・ 地図やグラフなどの資料を読みとって、より深く考えられる能力を鍛えます。



(2) どうやって勉強するの？

① 予習

- ・ 次の授業内容のページを一度自分で読んでおくこと。また、わからない言葉などが出てきたら自分で調べておくといいでしょう。

② 授業

- ・ 教科書を使っての勉強以外に「課題学習」といって、調べたりまとめたりするものもあります。単純におぼえるだけではなく、「調べる」「まとめる」ことも地理で学ぶことです。
- ・ いろいろなデータをまとめたグラフ・表などを読み取る力を育てましょう。

③ 復習

- ・ 授業でまとめたノートを読み返し、教科書ももう一度読んでおきましょう。
- ・ 問題集などで学習の済んだ内容を勉強しましょう。
- ・ わからなかったり疑問が残ったりしたところは、自分でチェックしておくこと。後で先生に質問したり、自分で調べてみることも大切な復習です。
- ・ 世界の国々や、都道府県の位置については、自分で地図を見ておぼえておきましょう！

④ その他

- ・ テレビのニュースや新聞で、世界中のことを知っておきましょう。知らない国の名前が出てきたときなどに、地図帳を使って調べておくのもいいことです。
- ・ 家族で旅行に行ったときなどに、旅行先のことをよく見てきてください。

『歴史』について

(1) 歴史を勉強する目的は？

- ・ 日本の文化と伝統を良く知り、もっと日本について深く考えます。
- ・ 時代の移り変わりを理解します。
- ・ 今あるものが、いつから続いているのかを知ります。
- ・ 歴史上の人物や文化遺産などを大切にする心を育てます。
- ・ 外国と日本のつながりを知って、世界の国と仲良くする心を育てます。
- ・ 写真や絵画などの資料を読み取って、物事を考える力を育てます。



(2) どうやって勉強するの？

① 予習

- ・ 地理と同じく、教科書を読んでおきましょう。

② 授業

- ・ ノートをまとめるときに、先生が黒板に書いた以外にもたくさん“メモ”をとりましょう。
- ・ おぼえることがたくさん出てきますが、繰り返して覚えましょう。

③ 復習

- ・ 基本的に地理と同じです。ワークをしっかりとやっておきましょう。
- ・ 常に年表を見て、時代や出来事の順番を覚えておきましょう。

④ その他

- ・ たくさん本を読んでみましょう。歴史に関係する本を読んでいると、知識に深みが出てきます。

数学科

算数から数学へ

小学校では算数とっていたのが、中学校では数学という言い方に変わりました。それでは、算数と数学はどう違うのでしょうか？

(1) 積み上げていく教科である

学年が進むにつれて、程度は高くなってきます。したがって、前の学年の内容がわからなければ、そのあとの学年の内容は理解できません。いろいろな知識が総合されないと解けない問題も多くあります。コツコツと長い時間をかけて努力しないと本当の実力はつきません。

(2) 理論を追う（考え方を表現する）教科である

どんな問題を解くときでも、明確な理由をひまえて、筋の通った考え方・説明ができるようになることをねらいとしています。

小学校の内容と中学校の内容が途中で切れているわけではありません。今まで小学校で学習した算数の内容がいろいろと発展して中学校の数学の内容になっています。

学習の方法

さあ、中学生になったのだから、はりきって、数学に取り組んでみよう！！

① 勉強は毎日やること（効率的に毎日 30 分する。）

これによって、頭が数学に慣れ、新しい数学を受け入れる基礎ができてくることになる。

② ノートと対話せよ

数学とは、考え方を表現する学問である。常にノートを用意し、自分の考え方を書き表すと自分の弱点や間違い箇所が明確にわかってくる。

※ 数学を敬遠したりしないで、自分もできるのだという自信をもって努力しよう。そうすれば、難解な問題でも徐々に解けるようになり、次第に数学が面白くなってくるものです。

※ わかるまで粘り強く考えよう。簡単にあきらめず関連のある既習事項などよく復習するなどして、粘り強く考えることが思考力を高めることになるのです。

※ 紙と鉛筆を面倒がらずに使おう。「こんな問題やらなくても…」などと言わずに、必ず計算したり、図や表を実際書いてみるのが大切です。書くことによって、解決の糸口が見つかるものです。

※ 一つの解決法だけでなく、角度を変えていろいろな方向から考えてみよう。応用力をつけるためにも類似問題で繰り返し練習することが大切です。

ノート

(1) 授業中の板書をノートにきちんと書く習慣をつけましょう。

(2) ノートを復習のために利用するので、日付やページ等を書くときよいでしょう。

計算練習の六原則

① 途中の計算はとばさないで、詳しく書こう。

② 間違った計算は大切にしよう。消さないで、必ず残しておく。

③ まちがったら、必ず原因を確かめて、正しくなおす。

④ 計算用紙を使わない。ノートにはっきり書こう。

⑤ 数字は、はっきり、わかるように書こう。

⑥ ある程度のスピードをつけよう。（速く、正確に！）

テスト

- (1) 毎日の勉強，一問ごとの勉強をしっかりとっておきましょう。(完全マスターしてテストに臨むこと)
- (2) テストの結果は，自分の学力がどのくらいついたかを確認するものだから，できなかった問題は必ずやり直して試みるのが大切です。
- (3) テストの問題用紙をとじておいて，復習のために役立てるようにしましょう。

理 科

発見する喜びを味わい，自然を見る目を伸ばしていこう！！

“なぜ？”と思うことって多いですね。

この“なぜ？”を解決していくのが理科です。

いろいろなものに興味を持って，理科を楽しみましょう。

<それには???>



- ① 前日までの準備：前回の授業で，先生から言われた持ち物（実験道具や観察用のもの）等をしっかり準備しよう。これは，大切！
 - ② 学校で 授業を積極的に受けましょう。
 - ・ 教科書，ノート，ワークは忘れないこと。
 - ・ 実験，観察はグループで協力して行いましょう。
 - ・ 実験は何のためにやっているのかを考えましょう。
 - ・ 移動教室なので授業に遅れないようにしましょう。
 - ③ 実験・観察
 - ・ 実験，観察は，自分の五感を全て使って行いましょう。
 - ・ 実験の準備，片づけも協力して行いましょう。
 - ・ 周りが汚かったら進んできれいにして，気持ちよい理科室をみんなで作っていきましょう。(理科室の使い方は追って説明します。)
 - ・ 気づいたこと，わかったことは記録しておきましょう。レポートはしっかり。
 - ・ 実験中は集中して，事故のないようにしましょう。
 - ④ 家庭で
 - ・ 予習より復習を（問題集やワークなどで）。
 - ・ ノート，プリント類を整理しましょう。
 - ・ わからないことは，自分でじっくり考えてみましょう。それから次の日に先生に質問してみましょう。
 - ・ プリントやテストはやっただけではだめ。やった結果できなかったところを必ず学習して，理解しておきましょう。
- ※ 実践・生活に生かせることは，大いに役立てましょう！それが大事！普段から自然に触れ，疑問を持ち，理科を一緒に楽しんでいきましょう。みんなのがんばりを期待しています。

英語科

1. どうして英語を学習するの？

様々な国の人たちの生活の様子や物の考え方を知り、世界中の人とコミュニケーションがとれるようにするためです。そしてみんなが力を合わせて、幸せに生活できるように英語を学習します。

2. 中学 1 年生としての目標

- ・ 基本的な英語を聞き取ったり、話したりできるようになろう！
- ・ 基本的な英語を読んだり、書いたりできるようになろう！
- ・ 自分の考えや気持ちを英語で言ったり、書いたりできるようになろう！
- ・ 英語を勉強しながら、外国の人たちの生活の様子や物の考え方を知り、同時に私たち日本人や日本語の特徴に改めて気づこう！

3. 英語を身に付けるには

聞<⇒まねして繰り返し練習する⇒覚える⇒話してみる⇒英語で考えてみる⇒書く、読む⇒身に付く

※ 耳、口、目、手をしっかりと使いましょう！

- ・ 耳を使って、英語独特の音声（発音、強弱、文のリズム・区切れ・上げ下げ）をよく聞きましょう。
- ・ 口を使って、何度もくりかえしてまねして、大きな声で話し、大きな声で読みましょう。
- ・ 目を使って、どんな場面か、何について話しているのかをよく見ましょう。
- ・ 手を使って、何度も何度も繰り返し書いたり、身ぶり手ぶりをしたりしましょう。

4. 家庭での学習の仕方

《 予 習 》

次の時間に学習する本文をノートに書き写し、英単語の意味を調べてくる。教科書の最後の方に辞書がついています。

《 復 習 》

- 1) 新しくでてきた英単語を練習用ノートに 10 回以上、書けるようになるまで練習しましょう。発音しながら書くと、だまって書くより早く覚えられます。
- 2) Basic Dialog の基本文を暗記して、練習用ノートに 5 回以上書けるようになるまで練習しましょう。
- 3) 大きな声で 5 回以上、本文の読みの練習をしましょう。
- 4) 各ページの絵だけを見ながら、本文が言えるようにしましょう。
- 5) おぼえた基本文をまねして、自分のことや身の回りのことを表現してみましょう。
- 6) ワークなどの問題集をやって、その日に習ったことが身についたか確かめてみましょう。

5. さらに英語が得意になるには

- ・ ラジオ（NHK 第 2）の基礎英語、英語の CD、DVD、テレビ（NHK 教育）の英語会話などを利用して、毎日できるだけ多くの英語を、聞いたり発音したりする時間を作りましょう。
- ・ 英語の学習は、「習うより慣れろ(Practice makes perfect)」とされています。がまん強く毎日最低 30 分は英語の学習時間を作りましょう。
- ・ わからないところは早めに先生や友達に聞いて、わからないことをためないようにしましょう。
- ・ 身の回りの英語でどんな意味だろうと思ったらすぐに辞書で調べるくせをつけましょう。

音楽科

◎ 音楽は『表現する』教科です。

気持ちを込めて、自分の思いをのびのびと表現しましょう！

♪大きな声で歌いましょう！

♪楽器を使って、楽しい演奏をしましょう！

(小学校とは違う少し大きなアルトリコーダーを使います。)

♪いろいろな種類の曲、世界中の曲を鑑賞しましょう！

♪音楽は年間に45回しかない授業です。1時間を大切にしましょう。



自分らしく！のびのびと活動してください！

一人一人を認め合い、楽しい雰囲気の中で授業をしていきます。

美術科

わたしたちは、常に美術に関わりながら生活をしています。例えば、テレビをつければ、いろいろな美しい映像が現れたり、町を歩けば趣向を凝らした看板が目飛び込んできたりします。また、様々なデザインの洋服やシューズ、日用品や文房具などがあり、どれを選ぶか迷ったりもします。このように、素材や配色、形など、工夫したり、楽しんだりすることは、美術の大切な役割です。もし、この世界から美術がなくなったらどうなるでしょう。とても味気ない世界になってしまいます。ですから、「美術」というと、「絵の具を使って何か描かなくてはならない」「何か作らなければならない」など難しいものではなく、もっと私たちの身近にあり、「生活を豊かにしてくれるもの」「楽しいもの」なのです。



「美術」の時間は、たくさんの素敵な色や形、素材と出会うチャンスです。ぜひ、多くの素敵なものと出会い、自分たちの生活をより豊かにできるようにしましょう。

そのために・・・

①自分の「考え」や「思い」を大切に

・作品を作るときは、「こうしなくてはならない」「こうでなくてはならない」ということはありません。「自分はどうしたいのか」「どう感じたのか」ということを大切にしてください。

②友達の「考え」や「思い」も理解する

・自分の作品だけでなく、友達の作品の良さなども感じる事ができれば、自分の考え方や感じ方も広がってきます。

③とにかく、やってみる

・「めんどうだから」「苦手だから」・・・と言って拒絶してしまうと、いろいろ素敵なものに出会うチャンスを失ってしまいます。だから、まずやってみる事、そこからまた考えてみる事が大切です。

④忘れ物をしない

・週に1回の授業です。忘れ物をしてしまうと、みんなが体験していることができずに終わってしまいます。

⑤集中して授業に取り組む

- ・授業中は、それぞれが人にじゃまされず、人をじゃませずに、自分の思いを大切にしながら作品制作や鑑賞を楽しんでください。

以上のことを心がけ、制作や鑑賞など、それぞれの思いを大切にしながら活動し、素敵な色や形、素材に出会い、身近にある美しいものに、たくさん感動してください。

保健体育科

全体的なこと

- ・運動習慣を身に付け、安全や健康について考え行動できるようにしましょう。
- ・運動を通して体力の向上や集団での行動を学び、心と体の成長を目指しましょう。
- ・運動の特性に触れ、スポーツの楽しさや厳しさを味わいながら、生涯にわたってスポーツに親しんでいける能力を身に付けましょう。

◎ 学校で

保健：授業の説明をよく聞き、ノートを丁寧に整理し、自分の体についての知識を身に付けましょう。

体育：正しいルールや技術を理解し、体を動かせる楽しさを学びましょう。

安全に気を付けながら、協力して活動ができるようにしましょう。

◎ 家庭で

保健：授業で学んだことを日常生活で活かせるようにしましょう。

体育：スポーツを「見る・聞く・行う」機会をつくってみましょう。

：家族や友達と体を動かす遊びや運動を取り入れましょう。



技術・家庭科

《生活の自立・経済の自立・精神的な自立・・・3つの自立を目指して学ぼう》

自立とは・・・できるだけ他の人の世話や指示を受けないで一人立ちすることができるとともに、他の人たちと支え合って生きること。

★そのために・・・★

《学ぶ心構え》 ★より良い生活を目指しましょう。

- 1 日常生活の場が、学びの場であり実践の場です。自分のことは、自分でできるようにしましょう。
- 2 「なぜだろう?」「不思議だな」「もっと、良い方法はないかな?」等、好奇心をもって生活しましょう。
- 3 まずは、基礎的・基本的な知識と技能を習得できるよう、課題をもって学習に取り組みましょう。
- 4 先人の知恵に関心をもって試してみましょう。
- 5 更に、自分の生活スタイルに合わせて、自分の創意工夫を生かしてみましょう。
- 6 合理的で安全な作業、効率が良く時短・エコに繋がる作業手順を工夫しましょう。
- 7 科学の原理や法則が、いかに生活や技術に応用されているかを追究してみましょう。



《学ぶ態度》 ★授業態度に、やる気を見せましょう。

- 1 授業に必要な用具は絶対に忘れないようにしましょう。
- 2 課題にまじめに取り組み、その時間の学習内容をしっかりと身に付けましょう。
- 3 「ものをつくる」だけでなく「ものができるまで」の過程を大切に、理論を良く知り、製作や実習に臨むようにしましょう。
- 4 製作や実験・実習の後片付けは、各自がきちんと行うようにしましょう。



♡自分らしく生きる可能性をもつ、未来を生きる主人公となる♡

学習に必要なもの（個人で用意するもの）

教科名	個人で用意するもの
国語	大学ノート または 国語用のたて書きのノート、書写の道具、国語辞典（授業で説明します）。
社会	大学ノート
数学	大学ノート
理科	特になし
英語	英語用のノート（4線ノート）1冊、英和辞書（持っている人はロッカーに入れておこう）
音楽	特になし
美術	アクリルガッシュの購入については、後日学校で注文をとります。小学校で使用した水彩絵の具セットを捨てないで置いてください。中学校でも使用します。
保・体	体育館シューズ（サイズの合ったもの）、長袖の体操着（上下）、半袖の白、長袖の白、その他の用意については順次連絡します。
技・家	技術・・・用意するものは特にありません 家庭・・・裁縫セットを捨てないで置いてください。
総合	特に必要なし

※ その他必要なものは、授業の際に順次用意するよう、教科担任から連絡があります。

教科主任の先生方へ

「学習の手引き」を新1年生用にホームページに載せる予定です。
何年か前に作成したのを見て、直接修正していただけるようお願い
いたします。イラストも変更可。

データは、学習⇒学習の手引き にあります。

できれば、5月22日（金）までに

生徒向けに、効果的な学習方法などをメインにお願いします。

各教科、1ページ以内でおさめてください。